

島根県公立小中学校
事務職員研究会

会長：鎌田陽子
(出雲市立第二中学校)

編集：情報部

VOL.55 2015.12.12 (時雨号)

発行責任者 蘿 恵 (川本小学校)

島事研ホームページ

<http://www.oh-net.com/~kenjiken/>

爽

SOU

【目次】

- ▶ 研究大会を終えて、次はセミナーです。
(副会長)
- ▶ 研究部の取組 ~調査結果報告~
- ▶ 県大会参加者の感想
- ▶ 研修報告
- ▶ 雲南市学校事務共同実施の取組
- ▶ 人権コーナー
- ▶ まんが「フーちゃん」
- ▶ 編集後記



研究大会を終えて、 次はセミナーです。

副会長 吉賀 孝則

11月6日、松江市：島根県民会館において、教育関係諸機関・団体のご支援・ご協力により、第46回島根県公立小中学校事務研究大会（以下、島事研大会）を開催いたしました。ご来賓の方々を含め約260名の参加をいただき盛大な島事研大会となりました。島根県公立小中学校事務職員研究会（以下、島事研）の中心といえる事業を無事終えることができました。島事研大会を開催するにあたり、古志野大会準備委員長を中心とし、準備・運営をしていただきました準備委員会の皆様、研究発表をしていただきました隠岐地区（隠岐島前）・松江地区（安来市）の方々、そして関係します全ての皆様に深く感謝し、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

次の事業といたしましては、1月22日、出雲市：ビッグハート出雲において、中国地区公立小中学校事務研究大会と兼ねて第9回の島根県学校事務セミナーを開催いたします。内容は、分科会と講義となっております。分科会は「学校財務管理」・「危機管理」・「人的資源管理」の3つのテーマの中から、各県が実践報告を行います。島事研大会とは違い、分科会形式で行います。要項をご覧ください、希望の分科会へ参加していただければと思います。また、島事研からは、「学校財務管理」と「危機管理」について、報告があります。

そして、「生涯学習時代における学校教育と地域連携」と題し、新潟大学准教授・雲尾先生に、島事研ビジョン2015に即した講演をしていただきます。島根県開催で、中国地区各県の活動状況を知り得る貴重な機会になると思います。島事研大会同様に、多くの方のご参加を期待しております。

今年度から、「島事研ビジョン2010」を受け継ぎ「島事研ビジョン2015」作成をいたしました。今後5年間の活動を計画し、活動方針を定め取組をすすめております。よりよい島事研活動となるように。また、島事研が抱える課題が解決できるよう、会員皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

研究部の取組 ～調査結果報告～ これからが本番！

第五次研究中期計画の3. 研究の方法の(5) 具体的な取組の視点と方策にも挙げており、今回、「島事研の研究活動に対する実態調査」「わくわく実践ナビの活用状況調査」の二つの実態調査を行いました。会員の皆様には、お忙しい中、実態調査にご協力いただきありがとうございました。

「島事研の研究活動に対する実態調査」は、平成26年度の島事研大会及び島事研セミナーのアンケート集計結果の中で「島事研の活動があまり身近に感じられない」「研究というものに気持ちが引いてしまう」「会員と研究部の考えが一致していないのではないか」などの回答をいただいたことから“**島事研の研究に対する会員の関心の度合を確認する**”“**島事研の取組の方向性と会員の思いのギャップを確認する**”ために行いました。記述解答では厳しい意見も頂戴しましたが、島事研研究部として真摯に受け止め、今後の取組へつなげていきます。なお、本実態調査の結果と考察、今後の取組等については、後日改めて報告させていただくこととし、今回は、「わくわく実践ナビの活用状況調査」について報告をさせていただきます。

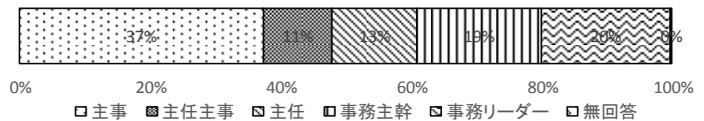
「わくわく実践ナビ」は、第四次研究中期計画の成果物として会員の皆様に配布したものです。今回の調査では活用の実態把握に加え、もう一度「わくわく実践ナビ」を手に取り活用してもらおうきっかけになればと考えて行いました。回答者数は263名で約8割の回収率となりました。重ねてお礼を申し上げます。

集計結果は下記のとおりです。

▽「わくわくナビの活用状況調査」結果▽

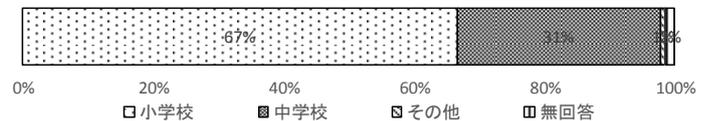
(1) あなたの職名を選んでください。

| 主事 | 主任主事 | 主任 | 事務主幹 | 事務リーダー | 無回答 | 計 |
|-----|------|-----|------|--------|-----|------|
| 98 | 28 | 34 | 50 | 52 | 1 | 263 |
| 37% | 11% | 13% | 19% | 20% | 0% | 100% |



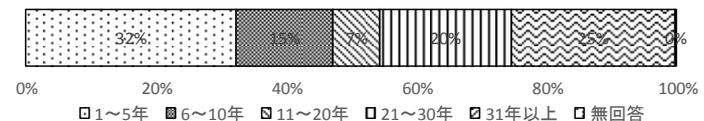
(2) あなたの校種を選んでください。

| 小学校 | 中学校 | その他 | 無回答 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|------|
| 175 | 82 | 2 | 4 | 263 |
| 67% | 31% | 1% | 2% | 100% |



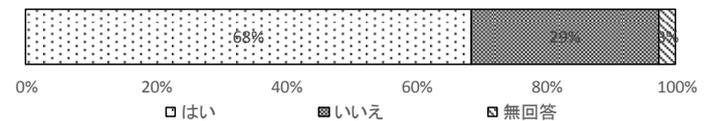
(3) あなたの経験年数を選んでください。

| 1～5年 | 6～10年 | 11～20年 | 21～30年 | 31年以上 | 無回答 | 計 |
|------|-------|--------|--------|-------|-----|------|
| 85 | 39 | 19 | 53 | 66 | 1 | 263 |
| 32% | 15% | 7% | 20% | 25% | 0% | 100% |



(4) 第45回島根県公立小中学校事務研究会において研究部より配布された「わくわく実践ナビ」をご覧になりましたか？

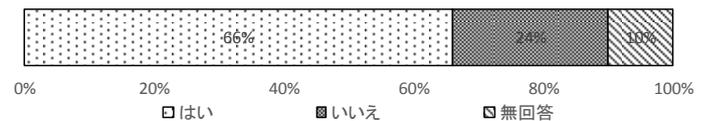
| はい | いいえ | 無回答 | 計 |
|-----|-----|-----|------|
| 180 | 76 | 7 | 263 |
| 68% | 29% | 3% | 100% |



(5) 個人マネジメントシートは、キャリアステージシートをもとに自分のキャリアに応じた取り組み方法を考えることを目的として作成しました。

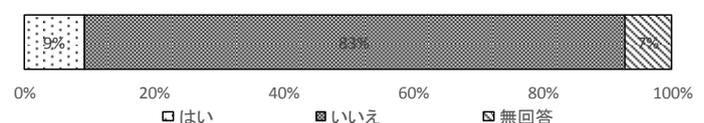
1. キャリアステージシートは参考になりましたか。

| はい | いいえ | 無回答 | 計 |
|-----|-----|-----|------|
| 174 | 63 | 26 | 263 |
| 66% | 24% | 10% | 100% |



2. 個人マネジメントシートを実際に使ってみましたか。

| はい | いいえ | 無回答 | 計 |
|----|-----|-----|------|
| 24 | 217 | 19 | 260 |
| 9% | 83% | 7% | 100% |



3. あなたの市町村では市町村マネジメントシートを使っておられますか。

| はい | いいえ | 無回答 | 計 |
|----|-----|-----|------|
| 6 | 226 | 29 | 261 |
| 2% | 87% | 11% | 100% |



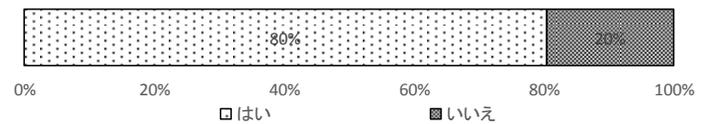
4. 市町村での取組例や校内での取組例をまとめたアプローチリストをご覧になりましたか。

| はい | いいえ | 無回答 | 計 |
|-----|-----|-----|------|
| 108 | 133 | 21 | 262 |
| 41% | 51% | 8% | 100% |



5. 4で「はい」と答えた方にお尋ねします。アプローチリストは業務の参考になりましたか。

| はい | いいえ | 計 |
|-----|-----|------|
| 107 | 26 | 133 |
| 80% | 20% | 100% |



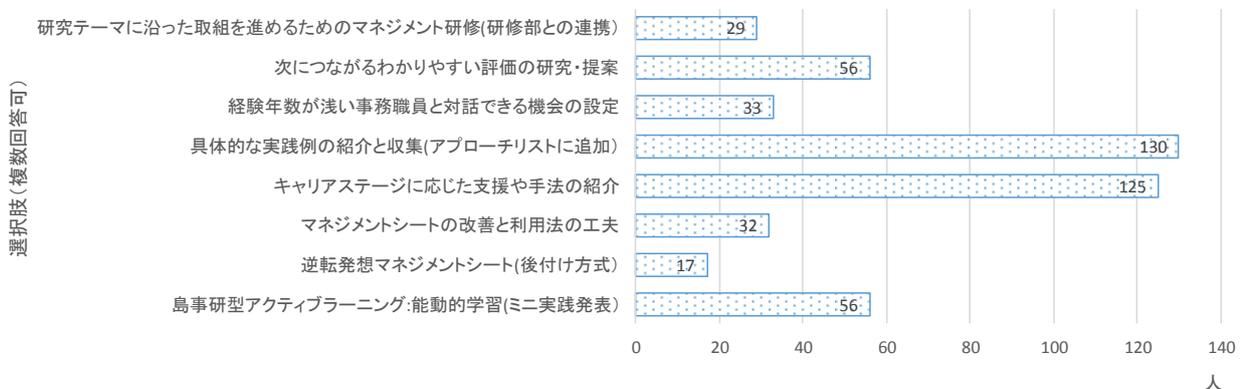
設問（5）-1 の回答結果から、キャリアステージシートへの関心度が高いことがわかりました。研究部としても「前向きな世代交代～実務をとおした指導・育成～，～実務をとおして感じる成長～」という共通の視点を設定し、これまで培われてきたキャリアステージごとの知識や経験に新たな視点を意識した取組を提案していきます。ただし、個人マネジメントシートと市町村マネジメントシートの利用については非常に低く、普段の業務の中で活用するには取り組みにくい現状が浮き彫りとなりました。

しかし、業務改善に対する意識がないわけではなく、今回は報告をしていませんが「島事研の研究活動に対する実態調査」の設問（21）（下記）でも、「キャリアステージに応じた支援や手法の紹介」と「具体的な実践事例の紹介と収集」に多くの回答をいただきました。どんな取組をしてよいのかわからない、取組に対する評価ができていないため広まらない、現在のキャリアに対して求められていることがわからない、といった現状があるのではないのでしょうか。今回の調査結果を受けて、研究部として具体的な事例を示すことができるよう取組を検討していきます。

アプローチリストの事案は、研究部にお寄せいただいたマネジメントシートによる会員の取組をまとめたものです。ぜひ、取り組んだことについて研究部までお寄せください。それが「わくわく実践ナビ」の充実及び活用推進、そして業務改善の手立てにつながると思います。

（参考）島事研の研究活動に対する実態調査 設問 21

（21）研究部では、第5次研究中期計画の具体的な取組として次のようなことを計画しています。あなたが、特に取り組んでほしいことを選んでください。（複数回答可）



～「わくわく実践ナビ」は、島事研 HP に掲載してあります。Excel データで掲載されていますので、各種シートをご活用ください。～

第46回 島根県公立小中学校 事務研究大会

平成27年11月6日
島根県民会館



参加者の感想

◎ 講話

島根県教育委員会教育長 藤原孝行 様

◎ 講演

演題「変わる学校, 変わらない学校
— 個業から協業への学校づくりと事務職員の役割」
(株)野村総合研究所 主任研究員 妹尾昌俊 様

[松江市立大野小学校 深田弥生]

講演を聞き、事務職員の強みについて改めて考えることができました。事務職員の3つの強みを活かして、私たち事務職員がこんな学校にしたいと考え、いろいろな人を巻き込んで行動を起こせば、学校は変わっていくと思いました。

[愛媛県 四国中央市立土居小学校 大西恵子]

妹尾先生のユーモアと関西人らしいつつこみありのお話に、ぐいぐいと引き込まれとても楽しい講演でした。「マネジメント」も今までで一番ストンと納得でき、すぐ取り組まねばと思う、実り多いものでした。

[益田市立益田小学校 城市祐希]

「マネジメントする」という言葉が自分の中ではまいち咀嚼できず、もやもやどんよりしていました。

妹尾さんの話を聞いて初めてすっとして少しだけ気持ちが軽くなった気がしました。

毎日いろいろあり閉ざしたり忘れてたりしそうになりますが、心が動き感じとることができること、人やモノに関わることができることが、マネジメントの元なのかなと、思うことができました。

[浜田市立浜田東中学校 直江宗一郎]

海を挟んだ環境の中で行う業務や引継の困難さは、私では想像しがたいものでした。その中で連携し、新規採用者の援助をされる様子は、自分の初年度や異動した今の様子と重なり、助け合う大切さを改めて感じることができました。ありがとうございました。

[出雲市立西田小学校 岩崎邦祐]

「チーム学校」としてマネジメント力強化が求められる中で、学校数の減少や、事務職員の世代交代などが、島根県だけでなく今後全国的な課題となるだろう。この問題に対して、ネガティブに捉えるのではなく、柔軟性やハブとしての役割など自分たちの強みを伸ばし、求められる力を身につけていきたいと感じた。

◎ 研究発表

《隠岐地区》

「子どもたちの豊かな育ちを支援する
事務職員の資質能力の向上をめざして」
～ 若い世代へ引き継ぎ共に成長する
島前事務グループの取組 ～
発表者 隠岐島前町村立学校事務グループ

《松江地区》

「子どもたちの学びのために できることからひとつずつ」
～ みんなでとにも取り組む 教育環境の整備 ～
発表者 安来市教育研究会 学校事務部会

[美郷町立邑智中学校 山口竜也]

島前事務グループの活動を聞いて、事務グループとしての支え合いが強いなと感じました。事務グループ活動をするだけでも、交通の都合上一日仕事になってしまうということや、世代交代での退職者・臨時的任用職員・正規任用事務職員の採用で、メンバーの入れ替わりが激しいという現状があるということに驚きました。

事務グループ活動での実務研修等を大切にしておられ、支え合い学び合いながら、グループ全員が資質向上に繋がられていることにとっても感心を持ちました。事務グループが充実し、しっかり連携することで、職員への不安を無くし、それが子ども達のより良い成長への支援に繋がっていれば良いなと感じました。

県大会研究発表(松江地区)での質疑応答につきまして、島事研HPに掲載しておりますのでご覧ください。



研修報告



県人権・同和教育 研究発表大会

大田市立鳥井小学校 永田 亜由美

8月7日、益田市で行われたこの研究発表大会へ参加しました。
午後の講演講師は、島根県に30回以上もこられたことのある仲島正
教さんです。

特に印象に残った言葉は、“教育とは、‘今日、いく’ことだ”です。保護者と顔を見て話すこと、小さいことでもわざわざその場へ行って話すことで、学校や教職員に不信感を持っている保護者の心も開くことができる、と話されました。

自分自身、自分に不信感を持っている人とはできたら話したくはないし関わりたくないのが正直な気持ちでしたが、教育に限らずやはり自分から関わらないと相手も関わりを持とうとしないのだなと感じました。

また、以前“求めない”という本（加島祥造）が流行りましたが、やはり他人に変わるよう求めるのではなく、自分が変わることが大事だと思いました。

ちなみに仲島さんはスーツを羽織っていましたが、裏生地は阪神タイガースのユニフォームでした。屋働いて、そのまま応援に行くためのスーツだそうです。大阪にそのような店があるそうです。

コーチング 講座

美郷町立邑智小学校 石川 大介

コーチング講座、正直言って参加して大変良かった！潜在能力をいかに引き出すか！という講座だったが、始まって2時間で、あることにハッと気付いた！それは「これって、部下（大人）を対象としているけど、子どもに置き換えたら、授業改善のことと重なってる！」と電球が頭に現れた！現代において、大人にも子どもにも、求められるコーチング（指導）は似ている！ということに気づいた。

個々のやる気や成長意欲を引き出すために、本人が自分自身で気付かせ、課題を解決しようと行動を変えていくこと！である。まさに、授業改善へのポイントに似ている。

具体的なコーチングスキルには、主に2つある。傾聴と問いかけである。

傾聴は、コーチングする相手との信頼関係をむすぶ大事なスキルである。生徒指導やカウンセリングにも共通している。しっかりと傾き、話をさえぎらない、共感的に受け止めることである。その中で、テクニックとしてなるほど！と感じたことは、傾くだけでなく、オウム返しのように言葉を返すことであった。「〇〇なんですよ(>_<)」「そうですか、〇〇なんですね！」と意図的に使うことである。

また、問いかけでは、「はい」か「いいえ」や「どっち？」のような限定してあげる限定質問と、「どう思う？」や「どうですか？」と考えさせる拡大質問がある。この2つを使いわけることが大事なのである。限定質問を最初に使うと、その内容から拡大質問へとつなげられる。しかし、最初に拡大質問をすると、なかなか答えづらい。この2つを使いこなしながら、考えさせ、気づかせ、解決（目標）し、実践につなげさせていく問いかけには、①今の現状は？ ②解決（目標）できたら、どうなってる？ ③解決（目標）が10なら今は？ ④その差の足りない点は？ ⑤1点上がったらどうなってる？ ⑥どうやって1点をあげる？他には？ ⑦最初に何する？いつまで？というステップを踏むのである。

最後に、北島康介選手のコーチの手法は、①考えさせる ②違う選択肢をあえて提示させる ③否定語は使わない、である。



雲南市学校事務共同実施の取組

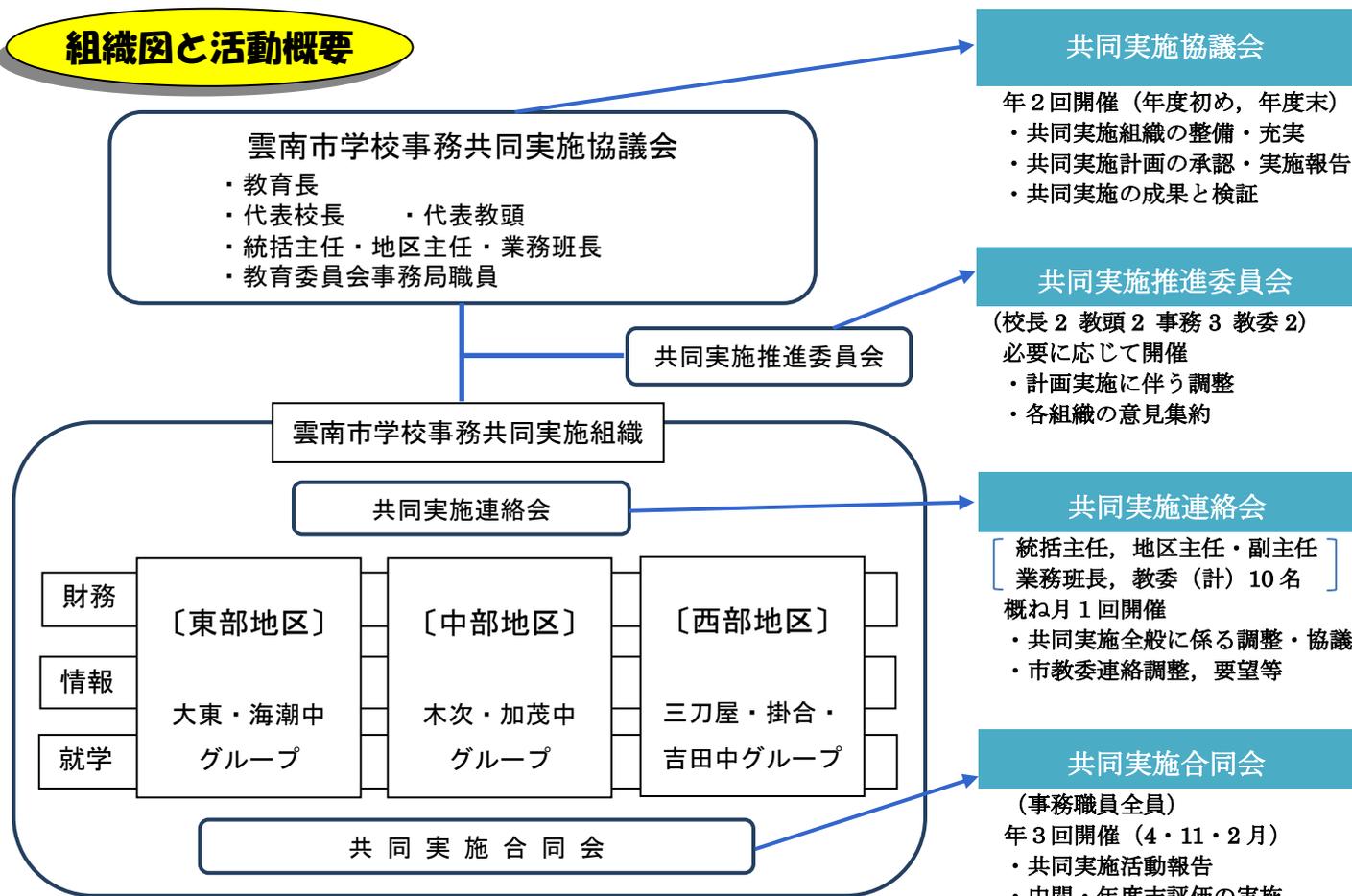


大東中学校 松林 智照

雲南市では、平成20年度から学校事務の共同実施に取り組んでいます。この共同実施によって市内全域で年度ごとに新しい業務遂行システムの整備が進められています。

共同実施組織は、地区会と業務班が3つずつ設けられ、それぞれが交差するように配置され、連携して活動を行っています。市内3つの地区会は、県が示す事務グループと同じ括りで、平成22年度からその内の2つのグループに、そして平成24年度からは3つ全てのグループに事務職員の加配を受け、同じ条件・環境のもとで各校の課題解決に向けて、地区会と業務班を絡ませた様々な活動を展開しています。

組織図と活動概要



| | | |
|-------------|-----|---|
| 専 門 部 | 財務班 | <ul style="list-style-type: none"> * 予算確保と効果的・効率的な予算執行（備品購入計画の集約，各種手引きの修正等） * 備品の適正な管理と有効活用（備品管理ソフトの本格的運用，保有備品の情報集約等） * 学校集金の適正な管理と効率化（公費・私費区分提案，会計ソフト，口座振替導入支援等） |
| | 情報班 | <ul style="list-style-type: none"> * 学校用グループウェアの充実と活用（ライブラリ活用支援と掲載データの管理等） * ICT環境条件整備（ICT研修の実施，事務だよりによる情報提供，セキュリティ管理等） * 文書管理の適正化・効率化（分類表の見直し・改正，文書共同廃棄，背表紙作成ソフト等） |
| | 就学班 | <ul style="list-style-type: none"> * 事務の手引きの運用・手入れ（改正等による整備，就学関係事務事例集の活用と整備等） * 教科書事務支援（手引き作成，研修会開催） * 就学支援事務（就学援助，奨学金制度等） * 事務の効率化と事務職員のスキルアップ（事務のキーポイント加除・修正，事務カレンダー等） |

今年度の活動

平成27年度は、基本的には前年度の活動を引き継ぎ、学校運営への支援・参画がより具体的にイメージできるような活動を展開していくことを目標にスタートしました。目標達成のため以下の取組を重点に活動を行っています。

① 地区会活動の充実・活性化

毎月初めの定例会は継続して開催し、その中で必要最小限の書類の相互チェックや情報交換、協議等は残しつつ、あとは市内3地区会がそれぞれ自由な発想で独自性を出しながら柔軟に活動を行うことにより業務の拡がりを図っていく。また、地区内各校の取組や実践事例の共有を図る。

② 平成28年度島根県公立小中学校事務研究大会研究発表に向けた取組

来年度の県事務研大会において雲南市が研究発表を行うことになり、昨年度中途からそれに向けての準備が進められている。研究テーマは「子どもと一緒に進める安全・快適な学びの環境づくり」で、その取組体制として、市内の地区会それぞれが視点と重点を決め、地区会ごとに実践を行うこととなった。

共同実施組織としては、これを地区会の活性化の好機ととらえ、単なる研究に終わることなく実践に重きを置いた活動を行うことにより、学校運営支援につなげていきたい。

③ 初任者支援及び他校支援

市内の新規採用者1名及び2年目の事務職員1名に対し、それぞれ地区会ごとに支援計画を立てて実施する。新規採用者には事務リーダーによる訪問支援、2年目の事務職員は地区内各校を訪問する形での支援（研修）を行う。また、市外からの転入事務職員4名に対しては、他校支援として、特に財務事務（市費、学校集金、備品管理等）に関する支援を重点的に行う。

④ 各校の課題解決に向けた具体的支援活動

各校の「学校評価」や「自己目標評価シート」を利用して、それぞれが抱える課題や問題点を明らかにし、それを地区会組織による具体的支援活動につなげていく。

⑤ 業務班活動の浸透

3つの業務班から示される学校運営に係るシステム等の導入の促進を図る組織として地区会を活用する。そのために、地区会全体だけでなく小グループや近隣の学校同士の単位での活動も行う。

⑥ 積極的な情報提供

事務だよりの発行を継続して行う。その他各自が得てきた情報、タイムリーな情報を積極的に共有し合う。

H26 学校事務共同実施に関する管理職アンケート結果より 記述部分より抜粋（提言・要望・期待など）

- 学級会計事務を引き受けていただいていることは、とても大きい。ただ、その目的を担任はきちんと自覚することが大切だと思う。すべて任せるのではなく、やらなくてはならないこともあると思う。そうすることで、より効率的で確実な学級事務になると思う。
- 各地区会や業務班会の内容を十分把握しているわけではないが、事務職員の研修機会の充実にもなってほしいと思う。そのことを学校教員にフィードバックしてもらえると、事務量が軽減される教員が知識不足や事務職員理解の不足に陥らないと考える。
- 学校集金会計事務の適正化の推進に期待（口座振替の導入、保護者負担の軽減など）
- 備品管理システムについて、校内での活用と市内全域での情報交換のための活用が今後の課題。
- 事務共同実施は、若手教職員のOJTにもつながっている。さらなる情報発信を。
- 同じ業務でも学校間で負担は違うようである。負担が大きい業務について支援し補い合うことで負担軽減が図れるし、また、その負担解消の方策についてアドバイスし合うことで学校間の差を解消することにつながると思う。
- 事務職員が学校経営に関わっていくためには行事や子どもの取組をできるだけ見る必要がある。事務室（職員室）から出て教育活動を見ることから経営参画や支援の仕方が見えると思う。そのような考え方を共同実施組織の中でさらに浸透させ、学校経営を支えていただきたい。
- ICT環境の整備と効果的な利用についての研修等を充実し、教職員が使いこなせるようにしてもらいたい。
- これまで十分に成果をあげていただいているので、無理をしないでください。（次年度への要望は？の問いに対して）



人権コーナー

おつかれさま

益田市立小野中学校
田根 幸子

「お疲れ様、今寮に帰った」 高校を卒業し、4月から東京で働いている長男からのラインは、たいていこの言葉で始まる。私より、よほど疲れているだろうに・・・。

益田でも有数のへき地に育った彼が、一年間の出向ではあるが、最初に配属されたのは、スカイツリーの警備だった。勉強も人とのかわりも苦手な彼は、小・中・高を通じて、辛い経験をたくさんしてきたし、保健室や相談機関の方に本当にお世話になった。でも、そのおかげで何十回講義を聞くより多くのことを、私は学んだ気がする。何より、学校でしんどい思いをしている子どもの気持ちに寄り添うことはできる。(現実には、無力でも・・・)

6月半ば、校長先生から職員向けに配られた便りに、『おつかれさまの国』という歌詞が載っていた。(詞：一倉宏 曲：斎藤和義) プリント類はためない主義だが、その号だけは、あまりにタイムリーに心に響き、ノートに貼り付けた。

♪ 『一日に何度も繰り返す そのことば (略)
そのひとの疲れに「お」をつけて 「さま」までつけて
「おつかれさまです」と声をかける ぼくらの日々 ♪

やさしくて強くて 一生懸命で
生きることはただそれだけでも 大変で
その愛も仕事も大切に 頭をさげて
「おつかれさまです」といいかわす ぼくらの国 ♪



つらいのはわかってる だけどわからないよ
誰だってそれぞれ 隠した切なさ
ほんとうはいえなくて だから いうのだろう
ありがとう 大丈夫です おつかれさまです ♪

Vol.32 おつかれさま

Nice to meet you!!



原作:千葉ひろみ 画:大橋幸子

【編集後記】先日、地元の祭りで久しぶりに神楽を観に行きました。

軽快で激しいお囃子と舞いにみんな大興奮！舞いをする方はみんな若手とのことで、すっかり地元の伝統芸能が引き継がれていました。私の勤務する学校でも神楽をやっている子がいますが、その子たちが何年か後にこの祭で神楽を舞っている姿を観れたらいいなあと思いつつ家路につきました。(Y.S)